

4月の言葉「見直し、振り返り、おさらい」

新年度となりました。4月が新年度もある意味ガラパゴスジャパンの一つといえるようになっていくようです。

先日東大の世界ランク向上のプロジェクトをドライブしている方のお話を聞く機会がありました。東大の世界ランクは2014年こそ23位で我が国の一人当たりの生産性の世界ランクとほぼ同じでしたが、2015年は44位と大幅に低下し、中国の北京大学の後塵を拝することとなってしまいました。

秋入学を導入したり、英語のみの授業クラスがあったりと留学生の受け入れを増やしたり、女子学生の数を増やしたりと少しでも評価ポイントを良くし、ランキングアップを目指していた時だけに関係者にはショックだったようです。

そんな折に2011年に専修大学の元経営学部長の加藤茂夫先生と出した「良い経営者、できる管理職、育つ社員」(白桃書房)の版元である白桃書房の社長さんと打合せをした際に、「在庫がまだあるので何とかして」との要望が出されました。

そこで再度、同書を精読することにしました。

自分で書いた書籍の感想で失礼ですが、「いや、ひさびさに感動した！」気分になりました。今年度から実施する「経営者セミナー」の教材としては全く考えていませんでしたが、ドンピシャの本に巡り合いました？！

あらためて皆様にもお勧めします。白桃書房から出ている「良い経営者、できる管理職、育つ社員」です。経営学と仕事術(タイム・セルフマネジメント)が融合した面白い本です。ページ数は130ページ弱と薄いですがお値段は1500円と通常です。

本ページをお読みいただいた方の中から先着順で5名様に同書をプレゼントいたします。

info@itime.or.jp

までお名前と住所を記してメールください。こちらより発送いたします。

5年前の本を読み返し、おさらいすることで、当初発見できなかったことを随分と見つけることができました。

今回のように「見なおし、振り返り、おさらい」することは時として大変有効だと改めて感じたわけです。

「見なおし、振り返り、おさらい」の良いところは本質に近づけたり、強みを発見できたりだと思います。

ちなみに東大のランクが大幅に下がったのは、ロイターなどが調査して公表している論文

の引用回数が大幅に減ったことによるようです。

秋入学や英語授業や女子大生の増加は東大の本業ではなく、東大の本業は多くの論文を世に出し、なおかつ多くの人の支持をえることだと思います。その意味でも東大も本業回帰に全精力を傾けていただきたいものです。

2016年4月

日本タイムマネジメント普及協会

行本 明説（逆から音読みするとセツメイホンギョウです）